

香川県教育委員会 2 月定例会会議録

1. 開催日時 令和 7 年 2 月 5 日（水）
 開 会 午前 9 時 3 0 分
 閉 会 午前 1 0 時 5 8 分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教 育 長	淀 谷 圭 三 郎
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博
委 員	鳥 取 美 穂
委 員	持 田 め ぐ み

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長(兼)新県立体育館整備推進総室長	海 津 洋
教育次長(兼)政策調整監	塩 田 広 宣
教育次長	吉 田 智
総務課長	近 藤 高 弘
義務教育課長	荻 原 絢 嗣
高校教育課長	長 林 真 司
特別支援教育課長	笠 井 幸 博
保健体育課長	渡 邊 浩 司
生涯学習・文化財課長	佐々木 隆 司
新県立体育館整備推進課長	景 政 孝 輔
教育センター所長	福 田 宏 志
政策主幹(兼)総務課副課長	宮 西 正 博
高校教育課主幹(兼)課長補佐	仲 川 暁
総務課長補佐	三 好 智 久
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	佐 伯 卓 哉
保健体育課長補佐(兼)主任体育主事	荒 井 憲 司
保健体育課長補佐	山 元 祐 二
健康福利課長補佐	新 名 智 子
教育センター教育研究課長	三 好 一 生
義務教育課主任指導主事	眞 鍋 容 子
義務教育課教育情報化推進室主任指導主事	光 武 淳
高校教育課主任指導主事	濱 口 大

高校教育課主任指導主事
特別支援教育課主任指導主事
総務課副主幹
総務課主任
総務課主任
高校教育課主任
義務教育課指導主事

井 川 靖 夫
岡 孝 弘
猪 池 美 智 子
西 村 達 也
田 中 一 成
西 野 慎 吾
尼 子 智 悠

傍聴人 なし

5. 会議録の承認

1月16日に開催した定例会の会議録署名委員の藤澤委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第2号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に、議案第3号は、「個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができ、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

7. 議 案

○議案第1号 香川県立アリーナ規則の一部改正について

新県立体育館整備推進課長から、香川県立アリーナ条例の規定のうち、別に教育委員会規則で定めることとしている「附属設備及び器具の使用料」をアリーナ開館前に定めるため、所要の改正を諮る旨、説明。

【質疑】無し

○議案第2号 令和7年2月香川県議会定例会に提案予定の教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 優秀な児童及び生徒に対する表彰について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

○その他事項1 令和6年度香川県学習状況調査報告書について

教育センター所長から、令和6年度香川県学習状況調査に係る調査結果の概要等について説明。

【質疑・意見交換】

＜木下委員＞10ページに今回テストを受けた小学校5年生と中学校2年生の人数があるが、小学校5年生の国語の場合、7,626というのは、これは人数でよいのか。

＜教育センター所長＞そうであるが、これは、テストを欠席した者は入っていない。

また、回答時に、機械読取エラーがあった者等についても、この人数にはカウントされていない。エラーの場合は、学校が個別に対応して、回答を補正している。

＜木下委員＞先日の定例会の話では、高校卒業生のうち就職希望数が800人位で、卒業予定者数が5,700人位だったと思う。今、小学生は7,600人もいるのか。一昨日の新聞では、去年の新成人が約5,000人と出ていたので、私は7,000人と5,000人の間位と思っていた。

また、小学校5年生と中学校2年生の中で、テストを受けてない人の数も分かるのであれば、一緒に報告してもらえれば、より詳しい実態が分かると思う。

＜教育長＞人数について、7,000人余の内、5,700人は、公立高校の人数であり、私立高校を含まない数字である。公立と私立は大体3対1くらいの割合のため、75%相当で5,000人余となる。

＜木下委員＞テストを受けていない生徒の点数は不明だが、もし欠席者も含めてすべての生徒が受けていたら、結果は大きく変わっていたかもしれない。生徒の学力を正確に把握するためには、できる限り全員受験が原則である。欠席者がいるなら欠席者人数の併記も必要であると考えます。

＜義務教育課長＞この後の議題の、全国学力学習状況調査等も紙で受けるものから、CBT、コンピューターで受けるものにしていく動きがある。コンピューターにすると、場合によっては、自宅でも受けられる可能性も出てくる。不登校の児童生徒にどれくらいアプローチできるかは、別の課題になるが、そういった点も踏まえていきたい。

＜藤澤委員＞試験に対して、学校で様々な取り組みが行われていると見聞きしている。

目標を持つことが勉強に影響すると言われるが、目標をどう持つのかという点が、小学生の目標と、中学生の目標では異なると思う。ここをどのように大人がサポートしていくのかということを考える機会となった。

○その他事項2 令和7年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について

義務教育課長から、令和7年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領について説明。

【質疑・意見交換】無し

○その他事項3 不登校支援に係るシンポジウムについて

義務教育課長から、不登校支援に係るシンポジウムについて説明。

【質疑・意見交換】

＜藤澤委員＞シンポジウムに参加される宮武さん自身が、不登校経験者であり、ひきこもりに対するアプローチ等、県内で活躍されている方なので、聞いてためになると思うので、ぜひ参加していただきたい。

＜教育長＞このシンポジウムは対話の場という位置づけであり、今日的には手法も含めて非常に大切な部分と私も考えており、参加させていただく。不登校に関しては100人いれば100人分の考え方があるが、そのような中で何がしかの政策を生み出していくしかないので、お時間があれば、ぜひ参加いただきたい。

＜木下委員＞一般的に、不登校においては現場復帰や学校に戻ってくる確率について、具体的な数字はあるのか。

＜義務教育課長＞学校に戻ってくる率というのは持ち合わせていないが、やはり30日欠席すると半数ぐらいは長期欠席になっていくという実態があるので、いかにそこを未然防止するかということになる。

○その他事項4 令和7年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について

高校教育課長から、令和7年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について説明。

【質疑・意見交換】

＜藤澤委員＞入学志願者数が昨年度より増え、定員に近くなった要因は何か。

＜高校教育課長＞昨年、一昨年と、定員を割っていた現状があった。今年は、戦略的に特別なことをしたのかということ、特別なことはしていない。昨年も一昨年も学校としては課題意識を持ち、小学校や塾等にも聞き取りに行き、定員割れが起こった

原因分析をしっかりと行った。今年度も、学校が、小学校や塾、あわせて35か所に聞き取りに行った。オープンスクールや学校の説明会を6月、8月と実施した際に案内や説明を丁寧に行った。恐らく、そういった地道な取組みの成果が今年、出たと分析している。ただ、地域の小学校は児童数の減少がかなりはっきり見えてきており、この結果に満足することなく、ますます厳しい状況になっていくことを学校も十分理解している。これからも児童の獲得のために何ができるかということを我々も一緒に検討していきたいと思っている。

○その他事項5 第77回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について

保健体育課長から、第77回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の結果について説明。

【質疑・意見交換】無し